

2009年10月5日（月）

第14回 臨床心理セミナー 日本の家族の心理的援助 — 家族療法の国産化 —

わが国の家族は、グローバル化や少子高齢化によって大きな変動の渦に巻き込まれています。不登校、ひきこもり、あるいは自殺の問題は、日本社会の積年の問題とも重なっています。個と社会の間にある「家族関係」への心理的援助こそ、心理臨床の専門家が取り組むべき優先課題となっています。

家族療法が日本に紹介されて30年ほど経過し、主要な理論や技法の翻訳作業はほぼ達成され、現在は「国産化」の段階にあります。欧米とは歴史的背景の異なるわが国の家族関係の特徴にフィットした、心理的援助の理論と技法の開発が求められています。

本セミナーでは、亀口憲治によって創案された「家族イメージ法（FIT）」と「超軽量粘土法」を用いた援助法の理論と実践を紹介します。「悩める家族の空気を一変させる」独特の手法にご期待ください。

なお、日程につきましては以下のとおりです。

皆様の参加を心よりお待ちしております。

- ◎ 日 時： 2009年10月10日（土）14:00～16:30
- ◎ 場 所： 広島国際大学 広島キャンパス（国際教育センター） 3階 300号室
（〒730-0016 広島市中区幟町1-5）
- ◎ 講 師： 亀口 憲治（東京大学特任教授・学生相談ネットワーク本部企画室長）
- ◎ 対象者： 一般、臨床心理士、臨床心理関係大学院生、病院、教育関係者【定員：150名】
- ◎ 参加費： 無 料（事前申し込み不要）

添付資料：セミナーパンフレット

以上

この件に関するお問い合わせ先

広島国際大学 心理臨床センター（担当：柏木）までお願いいたします。

TEL：082-511-2625 FAX：082-211-5138

上記リリースに関する資料は <http://www.hirokoku-u.ac.jp/> にUPされております。

発信枚数：本書含め3枚

第14回臨床心理セミナー

日本の家族の心理的援助 —家族療法の国産化—

●第14回 臨床心理セミナー

2009年10月10日（日） 14:00～16:30

講師：亀口 憲治 先生（東京大学学生相談ネットワーク本部 特任教授）

広島国際大学 心理臨床センター

Research Center for Clinical Psychology of Hiroshima International University

第14回臨床心理セミナー「日本の家族の心理的援助—家族療法の国産化—」

【内容】

わが国の家族は、グローバル化や少子高齢化によって大きな変動の渦に巻き込まれています。不登校、ひきこもり、あるいは自殺の問題は、日本社会の積年の問題とも重なっています。個と社会の中間にある「家族関係」への心理的援助こそ、心理臨床の専門家が取り組むべき優先課題となっています。

家族療法が日本に紹介されて30年ほど経過し、主要な理論や技法の翻訳作業はほぼ達成され、現在は「国産化」の段階にあります。欧米とは歴史的背景の異なるわが国の家族関係の特徴にフィットした、心理的援助の理論と技法の開発が求められています。

本セミナーでは、亀口憲治によって創案された「家族イメージ法(FIT)」と「超軽量粘土法」を用いた援助法の理論と実践を紹介します。「悩める家族の空気を一変させる」独特の手法にご期待ください。

【講師のプロフィール】

東京大学特任教授・学生相談ネットワーク本部企画室長

博士(教育心理学)、臨床心理士、家族心理士。日本家族心理学会常任理事。家族心理士・家族相談士認定機構常務理事。日本心理臨床学会理事。家族心理臨床研修センター長、システム心理研究所長。

専攻：臨床心理学、家族療法、臨床心理システム論

主要著書：『家族臨床心理学』東京大学出版会 『家族のイメージ』河出書房新社 『心理査定実践ハンドブック』創元社 『心理臨床大事典』培風館 『家族療法』ミネルヴァ書房 他多数

日 時：2009年10月10日(土) 14:00～16:30 (開場 13:20～)

会 場：広島国際大学広島キャンパス 国際教育センター

3階300号室(広島市中区幟町1-5)

(定員 150名)

(駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください)

参加費：無 料

申込：予約不要。当日会場までお越しください。

(定員になり次第受付終了)

お問合せ先

〒730-0016

広島市中区幟町1-5

広島国際大学心理臨床センター

TEL: 082-511-2625

Fax: 082-211-5138

(担当: 柏木)

主 催：広島国際大学 心理臨床センター

